第２号様式（第５条、第６条、第７条、第８条関係）　No 1

令和　6　年度　政務活動費支出整理簿

会派名 自民クラブ
氏　名 長谷川　ひろゆき

項　目	研修費		
費　目	旅費		
整理番号	月　日	支出額（円）	支　出　内　容
1	5 ／ 16	34,075	全国地方議会議員勉強会旅費・宿泊費（東京都渋谷区）　日程・場所等は調査視察等届出書に記載
1-1	／		JR乗車券・特急券　八戸⇔東京　26380円　宿泊代　7695円　計34075円
2	5 ／ 22	35,215	地方議員研究会セミナー旅費・宿泊費（東京都千代田区）　日程・場所等は調査視察等届出書に記載
2-1	／		JR乗車券・特急券　八戸⇔東京　26380円　宿泊代　8835円　計35215円
4	6 ／ 26	7,120	認定こども園・子ども子育て勉強会　旅費（岩手県盛岡市）　日程・場所等は調査視察等届出書に記載
4-1	／		JR乗車券・特急券　八戸⇔盛岡　上限7120円
5	7 ／ 3	192,270	JAMSTEC役員会・研修会　旅費・宿泊費（東京都千代田区）日程・場所等は調査視察等届出書に記載
5-1	／		JR乗車券・特急券　八戸⇔東京　宿泊代　計　54310円
5-2	／		R乗車券・特急券　八戸⇔東京　計　40960円
5-3	／		JR乗車券・特急券　八戸⇔東京　宿泊代　計　54660円
5-4	／		JR乗車券・特急券　八戸⇔東京28640円　宿泊代13700円　計42340円
6	10 ／ 29	8,860	2040未来ビジョン出前セミナーin秋田旅費（秋田県秋田市）　日程・場所等は調査視察等届出書に記載
6-1	／		JR乗車券・特急券　八戸⇔秋田　8860円
9	2 ／ 11	61,920	ふるさと交流フォーラム等　旅費・宿泊費（東京都千代田区）日程・場所等は調査視察等届出書に記載
9-1	／		JR八戸⇔東京　29840円　宿泊代　32080円　合計61920円
小　計		339,460	備　考
合　計		339,460	

※案分による支出の場合は、案分率等を支出内容欄に記入してください。

研修費旅費 整理番号

第３号様式（第６条、第８条関係）

令和６年４月２３日

会派名　　自民クラブ
代表者名　　立　花　敬　之　様

氏　名　日　當　正　男

調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第６条第１項の規定により、次のとおり届出します。

１　旅行者　　日　當　正　男　議員

２　期　間　　令和６年５月１６日(木) ～ 令和６年５月１７日(金)

３　場　所　　東京都渋谷区

４　目的及び内容　全国地方議会議員勉強会

５　支出可能額（上限額）　５５，６４０円
【内訳は、旅費額計算書（第４号様式）に記載のとおり】

第４号様式（第６条、第８条関係）

旅　費　額　計　算　書

旅行日程				旅費計算の基礎				
				区分	基数	単価	金額	備考
行き	5/16	鮫駅発	13:44	早見表				
	5/16	原宿駅着	18:03					
帰り	5/17	原宿駅発	15:31					
	5/17	鮫駅着	20:47					
経路・滞在地				鉄道運賃	660.1k	10,010	18,000	鮫⇔原宿（往復割引）
別紙のとおり								
				急行料金 特	2	6,270	12,540	八戸⇔東京　631.9k
				急行料金 急				
				特別車両料金	2	5,600	11,200	八戸⇔東京　631.9k
				航空運賃				
				バス運賃				
				宿泊料	1	13,900	13,900	5/16　東京都内泊
				小計			55,640	
				合計（小計×人数）			55,640	1名

全国地方議会議員勉強会　行程

日程：令和６年５月１６日（木）～１７日（金）

行先：東京都渋谷区

【日當　正男 議員】

月 日	行　　程	宿泊地
5月16日 （木）	13:44発 鮫 → （JR八戸線） → 14:05着/14:16発 八戸 → （はやぶさ28号） → 17:04着/17:32発 東京 → （JR山手線） → 18:03着 原宿	東京都内泊
5月17日 （金）	10:30～15:00/15:05発 グリーンファンタジア（勉強会） → （移動） → 15:15着/15:31発 原宿 → （JR山手線） → 15:59着/17:20発 東京 → （はやぶさ39号） → 20:12着/20:25発 八戸 → （JR八戸線） → 20:47着 鮫	

第５号様式（第６条、第８条関係）

令和６年６月１３日

会派名　　自民クラブ
代表者名　　立　花　敬　之　様

氏　　名　　日　當　　正　男

調査視察等報告書

令和６年４月２３日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第６条第１項の規定により次のとおり報告します。

１　旅行者　　日　當　正　男　議員

２　期　間　　令和６年５月１６日(木) ～ 令和６年５月１７日(金)

３　場　所　　東京都渋谷区

４　行　程　　５月１６日　鮫～JR～八戸～JR～東京～JR～渋谷
５月１７日　渋谷～JR～東京～JR～八戸～JR～鮫
※会場変更により、発着駅に変更あり(原宿から渋谷に変更)

５　支出額　　３４，０７５円

６　概　要　　別紙のとおり

全国地方議会議員勉強会　行程

日程：令和６年５月１６日（木）～１７日（金）
行先：東京都渋谷区

【日當　正男 議員】

月 日	行　　程	宿泊地
5月16日 （木）	13:44発 鮫 → （JR八戸線） → 14:05着/14:16発 八戸 → （はやぶさ28号） → 17:04着/17:32発 東京 → （JR山手線） → 18:01着 渋谷	東京都内泊
5月17日 （金）	10:30～15:00/15:05発 渋谷新生ビル → （移動） → 15:15着/15:33発 渋谷 → （JR山手線） → 15:59着/17:20発 東京 → （はやぶさ39号） （勉強会）※会場変更（変更前：グリーンファンタジア） → 20:12着/20:25発 八戸 → （JR 八戸線） → 20:47着 鮫	

第６号様式（第７条、第８条関係）

活　動　記　録　簿

会派・議員名　　自民クラブ　　日當　正男

項　　目	研修費			
年　月　日	令和６年５月17日（金）			
場　　所	グリーンファンタジア７Ｆから変更 渋谷新生ビル703号室 （東京都渋谷区2-22-7）			
相　手　方	主催：全国地方議会議員勉強会 イチイ株式会社（東京都渋谷区神宮前１丁目11-11ｸﾞﾘｰﾝﾌｧﾝﾀｼﾞｱﾋﾞﾙ７階			
参加者氏名	日當　正男			
目的・内容・結果等	講師：千葉佳織 株式会社カエカ代表取締役・スピーチライター 内容　・明日から使える、議員の「伝え方」言語化・内容構成編 　　・明日から使える、議員の「伝え方」話し方編			
経　　費	費　目	内　　容	金　額	備　考
	参加費	セミナー参加費	33,000円	
	交通費		26,380円	
	宿泊費		7,695円	
			円	
	合　計		67,075円	
備　　考				

No

第１号様式（第５条、第８条関係）

領収書等貼付用紙

項目	研修費	費目	旅費	整理番号	
領収書等貼付欄					

領収書
(RECEIPT)

日付： 2024/05/16
担当： 75
No. 28707-1

toyoko inn

日當 正男 様

¥7,695 －

但し、宿泊代、他

上記正に領収致しました。

東横INN大塚駅北口Ⅰ
〒170-0004
東京都豊島区北大塚２－１１－３

TEL 03-5394-1045 FAX 03-5394-1046

株式会社東横イン
T8010801008365
10%対象 ¥7,695

収入印紙

領　収　証

2024年 4月25日

日當正男 様

金26，380円

ただし、5／16．17八戸⇔東京往復代
（クレジットカードによるご利用分）として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

印紙税申告納付につき渋谷税務署承認済

東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 T9011001029597

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

鮫401 No.000002

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならない

東横INN toyoko inn

領収書
(RECEIPT)

日付： 2024/05/16
担当： 75
No. 28707-1

日當 正男 様

¥7,695 －

但し、宿泊代、他

上記正に領収致しました。

東横INN大塚駅北口Ⅰ
〒170-0004
東京都豊島区北大塚２－１１－３

TEL 03-5394-1045 FAX 03-5394-1046

株式会社東横イン
T8010801008365
10%対象 ¥7,695

収入印紙

ご利用明細書
STATEMENT

1/1

部屋番号 ROOM No.	お名前 NAME	ご人数 NUMBER OF PEOPLE
0605	日當 正男 Mr. Ms. 様	1

ご到着日 ARRIVAL	ご出発日 DEPARTURE	備考 REMARKS	発行日付 DATE OF ISSUED
05/16	05/17		24/05/16 19:35:29

日付 DATE	摘要 DESCRIPTION	ご利用金額 CHARGE	お預り金額 PAYMENT	備考 REMARKS
05/16	預り現金		7,695	
	宿泊料	7,695		
	10%対象 ¥7,695			
	(内消費税 ¥699)			

ご利用金額
TOTAL AMOUNT ¥7,695 －

（ご料金合計には消費税 ¥699を含みます。）
A consumption tax 699yen is included in the total price.

東横INN toyoko inn

全国地方議会議員勉強会

・日時　令和６年５月17日（金）　10：30～12：00　　13：30～15：00

・場所　　渋谷新生ビル703号室　（東京都渋谷区2-22-7）

・主催　　全国地方議会議員勉強会　（イチニ株式会社）

・参加者　　日當　正男　（自民クラブ）

・研修概要

講　師　　千葉佳織　（株式会社カエカ代表取締役・スピーチライター）

内　容

明日から使える、議員の「伝え方」言語化・内容構成編

① 演説トレーニングの全体像
・ 田中角栄の演説はなぜ響くのか
・ 内容と話し方を分解する理由
② 話し方の重要３点
・ 目的を意識する
・ 対象者を選定する
・ 話し言葉の意識を持つ
③ 内容のポイント
・ 所信表明演説から学ぶ事実情報の分解
・ 安倍晋三追悼演説から学ぶストーリーテリング
・ ファクトとストーリーのバランス
・ 自己開示力の重要性

明日から使える、議員の「伝え方」話し方編

① 演説トレーニングの全体像

・ 千葉佳織の実践
・ 内容と話し方の重要性
② 話し方のポイント
・ 間を意識する
・ フィラーをなくする
・ スピードを意識する
・ 声の高低を変える
・ 声の大小を変化させる
・ ジェスチャーの活用

総　括

今回のセミナーは、本会議、各種委員会、市民への報告会そして日頃の議員活動等において、「伝え方」が議員にとって重要であることから、ヒントが一つでも頂ければとの思いで受講した。

セミナーの講師は今話題のスピーチライター千葉佳織氏であり参加者も多く会場を変更しての開催であった。女性議員の参加者も多く全体の三割程であった。セミナーは講義と隣の方とのトレーニングで行われた。

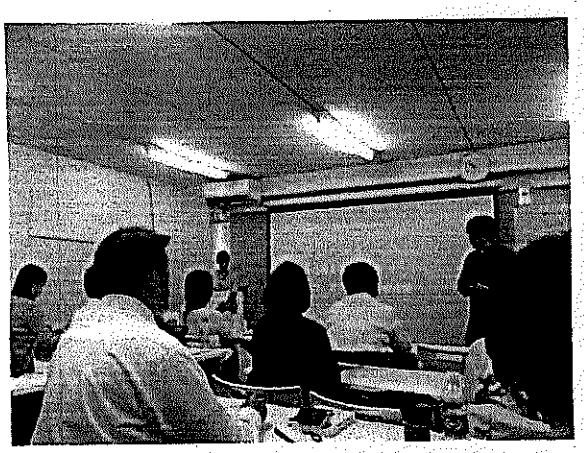
特に「伝え方」のヒントとなったのは

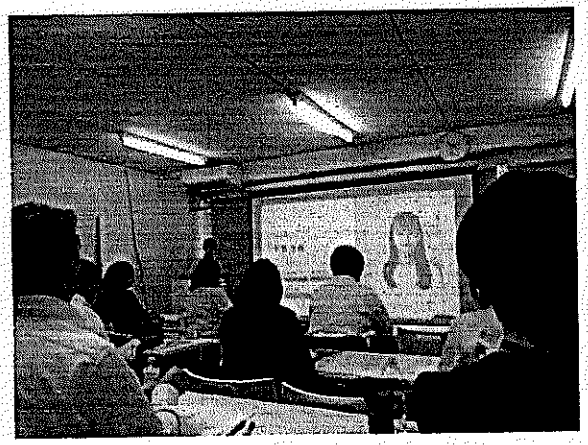
・「伝え方」には「内容」と「話し方」がある
・「内容」には言語化力と構成力がある
・「話し方」は表現力である
・「内容」はファクト、ストーリーが重要である（ファクトとは事実を扱う力、ストーリーとはストーリーを伝える力とか経験・思いを伝える力）
・一番伝えたいことは何か！
・「話し方」には声の大小、声のスピード、声の高低、話の間、フィラーを省く（フィラーとは「あ～　とか　え～　とか　う～　とか」）
・動きを付ける
・間は２秒　　演説の終盤は３秒～４秒（特に問いかけの時）
・ゆっくり話す（聞き手が高齢者の場合は特に）
・対象者を見分ける
・大きな口で
・数字、名前、重要な事は強調、ゆっくりと話す
・ジェスチャーで手の高さは下より上の方（できれば顔の高さくらい）
・手の開き方はグー・チョキ・パー（チョキも指１本、２本、３本）

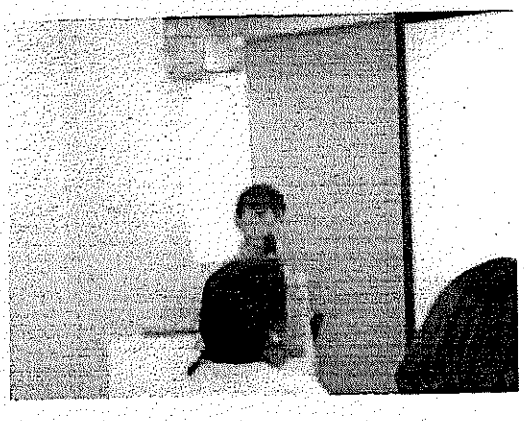
・手の向きに注意
・ジェスチャーは大きく堂々と
・勇気をもって話をする
　講師は「話し方は努力で変えられる」と話していたので努力して自分を変えていきたい。
今後はこれらのヒントを活かしながら議員として本会議、各種委員会、市政報告会そして日頃の議員活動等に活かして、八戸市の発展そして市民の福祉の向上に活かしていきたい。今回のセミナーは大変有意義なセミナーであった。

・明日から使える、議員の 「伝え方」言語化・内容構成編
・明日から使える、議員の「伝え方」話し方

令和6年5月17日







研修費旅費 整理番号　2

第３号様式（第６条、第８条関係）

令和６年５月１日

会派名　　自民クラブ
代表者名　　立　花　敬　之　様

氏　名　日　當　正　男

調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第６条第１項の規定により、次のとおり届出します。

１　旅行者　　日　當　正　男　議員

２　期　間　　令和６年５月２２日(水) ～ 令和６年５月２３日(木)

３　場　所　　東京都千代田区

４　目的及び内容　地方議員研究会

５　支出可能額（上限額）　５５，６４０円
【内訳は、旅費額計算書（第４号様式）に記載のとおり】

第４号様式（第６条、第８条関係）

旅費額計算書

旅行日程			旅費計算の基礎				
			区分	基数	単価	金額	備考
行き	5/22	鮫駅発 9:35	早見表				
	5/22	有楽町駅着 13:20					
帰り	5/23	有楽町駅発 12:17					
	5/23	鮫駅着 16:47					
経路・滞在地			鉄道運賃	645.7k	10,010	18,000	鮫⇔有楽町（往復割引）
別紙のとおり							
			急行料金 特	2	6,270	12,540	八戸⇔東京 631.9k
			急行料金 急				
			特別車両料金	2	5,600	11,200	八戸⇔東京 631.9k
			航空運賃				
			バス運賃				
			宿泊料	1	13,900	13,900	5/22 東京都内泊
			小計			55,640	
			合計（小計×人数）			55,640	１名

地方議員研究会　行程

日程：令和６年５月２２日（水）～２３日（木）
行先：東京都千代田区

【日當　正男 議員】

月 日	行　　程	宿泊地
５月22日 （水）	9:35発 鮫 → （JR八戸線） → 9:59着/10:17発 八戸 → （はやぶさ16号） → 13:04着/13:18発 東京 → （JR山手線） → 13:20着/13:25発 有楽町 → （移動） → 13:30着/14:00～16:30 リファレンス国際ビル （勉強会）	東京都内泊
５月23日 （木）	9:30～12:00/12:05発 リファレンス国際ビル （勉強会） → （移動） → 12:10着/12:17発 有楽町 → （JR山手線） → 12:19着/13:20発 東京 → → （はやぶさ25号） → 16:13着/16:22発 八戸 → （JR八戸線） → 16:47着 鮫	

第５号様式（第６条、第８条関係）

令和６年６月１３日

会派名　　自民クラブ
代表者名　　立　花　敬　之　様

氏　　名　　日　當　　正　男

調査視察等報告書

令和６年５月１日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第６条第１項の規定により次のとおり報告します。

１　旅行者　　日　當　　正　男　議員

２　期　間　　令和６年５月２２日(水) ～ 令和６年５月２３日(木)

３　場　所　　東京都千代田区

４　行　程　　５月２２日　鮫～JR～八戸～JR～東京～JR～有楽町

５月２３日　有楽町～JR～東京～JR～八戸～JR～鮫

５　支出額　　３５，２１５円

６　概　要　　別紙のとおり

第６号様式（第７条、第８条関係）

活　動　記　録　簿

会派・議員名　　自民クラブ　　日當　正男

項　　目	研修費			
年　月　日	令和６年５月22日（水） 令和６年５月23日（木）			
場　　所	リファレンス国際ビル貸会議室 （東京都千代田区丸の内３丁目1-1国際ビル２F）			
相　手　方	主催：地方議員研究会 （大阪府大阪市北区梅田1-2-2大阪駅前第２ビル２階5-6号室）			
参加者氏名	日當　正男			
目的・内容・結果等	講師：江上隆行 前・福津市議会議長 内容　○議員がめざすべき議会の姿 　　○一般質問・質疑の本質とは			
経　　費	費　目	内　　容	金　額	備　考
	参加費	セミナー参加費	30,000円	
	交通費		26,380円	
	宿泊費		8,835円	
			円	
	合　計		65,215円	
備　　考				

第１号様式（第５条、第８条関係）　　No

領収書等貼付用紙

項目	研修費	費目	旅費	整理番号	2-1
領収書等貼付欄					

東横イン toyoko inn

領収書

HINATA MASAO様

領収金額　¥8,835

（含む　消費税）
以下にて領収いたしました

◆ご利用明細◆

2024/05/22
宿泊料　¥8,835

10%対象　¥8,835（内 消費税額　¥803）

◆お支払い明細◆

現金　¥8,835

最安値宣言!!公式HP予約なら最大¥400 OFF
オンラインカード決済ですいすいチェックイン!!
予約はこちらtoyoko-inn.com

東横INN池袋北口2
TEL:03-5396-1045 FAX:03-5396-1046

印紙税申告納付につき蒲田税務署承認済

発行元
株式会社東横イン
東京都大田区新蒲田1丁目7番4号

登録番号:T8010801008365
取引番号:2240540884　2024/05/22 17:21

日野原 様

領収証

2024年 5月 2日

金26,380円

ただし、5/22～5/23八戸～東京往復代
（クレジットカードによるご利用分）として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

印紙税申告納付につき渋谷税務署承認済

東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 T9011001029597

駅401 No.000001

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

※　領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

地方議員研究会セミナー

・日時　令和６年５月22日（水）　14：00～16：30
　　令和６年５月23日（木）　9：30～12：00

・場所　リファレンス国際ビル貸会議室　（東京都千代田区丸の内３丁目1-1国際ビル2F）

・主催　　地方議員研究会

・参加者　　日當　正男　（自民クラブ）

・研修概要

講　師　　江上隆行　（前・福津市議会議長）

内　容

☆議員がめざすべき議会の姿
① 議会と行政は「車の両輪」だろうか
② 議員は全体の奉仕者としての言動を
③ 議会が採択した請願の実現努力を
④ 地方自治法に基づく意見書の提出を
⑤ 議会の調査権とは
⑥ 議会が議決した意思を尊重しよう
⑦ 決算審議における付帯決議で議会の意思を明確に
⑧ 議会機能を使いこなそう
⑨ 議会力の強化を図るための一方法
⑩ 自治体の内部機関である議会から住民へ発信を
⑪ 議会基本条例で規定されている「反問権」へ一言

☆一般質問・質疑の本質とは
① 「一般質問」とは何か
② 私は何をめざして「一般質問」を行ってきたか
③ 私の「一般質問」の作り方

④ 一般質問の準備と質問に関する調査の方法
⑤ 一般質問通告書への所管部門職員の質問取り
⑥ 一般質問の具体例と解説
⑦ 「質問」と「質疑」のルールを守ろう
⑧ 予算審査と決算審査で押さえておきたいポイント
その他　質問実例の紹介

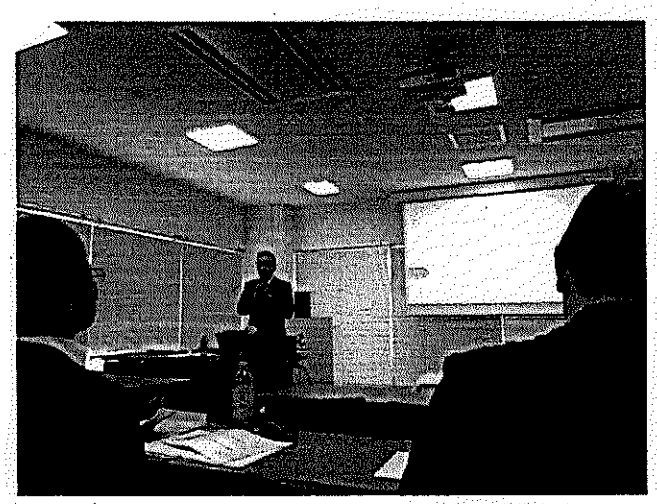
総　括

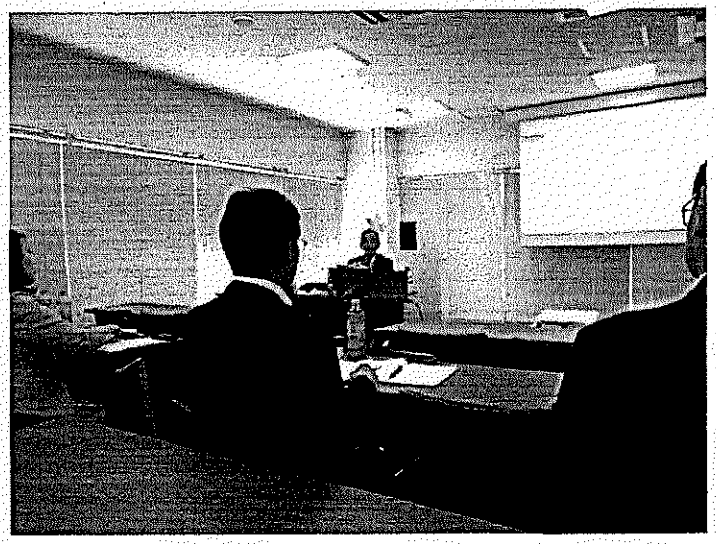
今回のセミナーは、「元議長が語る、議会と質問の基礎研修」ということでより実務的なお話しが伺えるということで、議員活動に活かせればとの思いから受講した。

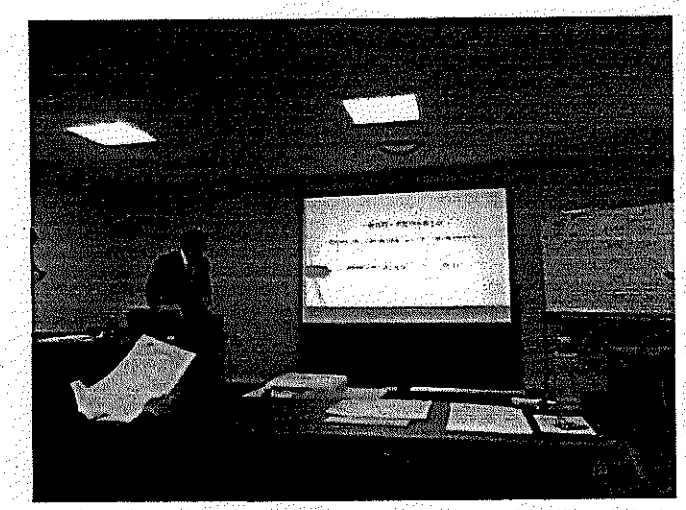
セミナーの講師は福岡県の福津市議会の前議長で、かつて自由民主党本部勤務、参議院秘書をされ、福津市議会議員を 4 期務め、その間全国市議会議長会地方財政委員長、九州市議会議長会理事を歴任された方であった。
セミナーはパワーポントを使用し、レジメに則り自身の経験を交えて講義された。
特に印象に残ったことを列記すると
・二元代表制のもと、議員は行政をチェックし、政策提言し、条例を制定することが重要な役割である
・地方議会の議員は非常勤特別職の公務員という位置付けであり、「全体の奉仕者」として言動を心がけなければならない
・調査権は議会と委員会にだけあり、議員個人はない
・決算を認定して付帯決議を付けないと、議会としての意見が住民には理解できない
・委員会における重要議案の審査では、参考人制度を活用し外部の意見を聴く
・質問したいことを職員から止められた時はどうしたらいいのか
・地方自治法において、「地方公共団体は、住民の福祉の増進を図ることを基本とする。」と規定されている
・質問のために気をつけること（相手は行政のプロ、しっかり準備、裏付けをとる）
・市の重要課題など当面質問したい事項を多くピックアップする
・毎年 6 月頃、国から発表する「経済財政運営と改革の基本方針」いわゆる「骨太の方針」そして 12 月上旬に閣議決定される「予算編成の基本方針」について目を通しておく（国が力を入れている所を注視する）
・毎年 12 月末に発表される「地方財政対策」にも注視
・決算審査においては「当該予算を執行して、どのような効果があったか」ま

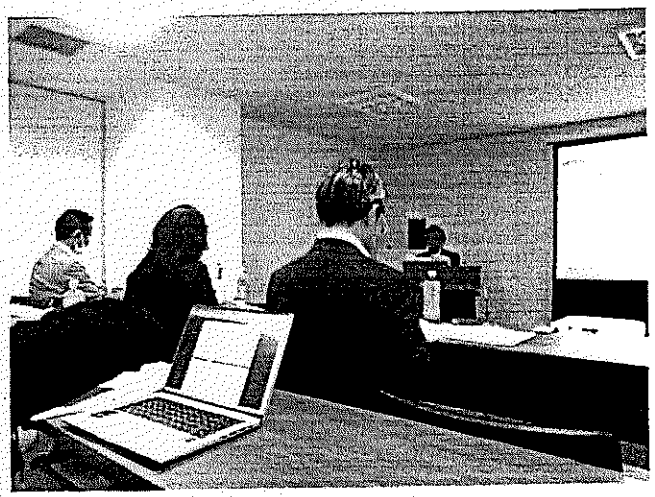
た「住民福祉の増進にどれだけ寄与したか」が大事
・「決算カード」をよく読むことが大事
である
　予算などは別世界でおこっているのではなく、国の動きは大なり小なり必ず地方自治体に影響してくる為、タイムリーな国の動きを注視していくことが地方議員に求められているという講師の言葉に、確かな議会活動のヒントを得た感じである。
今後は、住民から「近くて遠い地方議会」から「近くて近い地方議会」へと活動していきたい。
そして今回のセミナー受講を活かし、八戸市の発展そして市民の福祉の向上に務めていきたい。
今回のセミナーは大変有意義なセミナーであった。

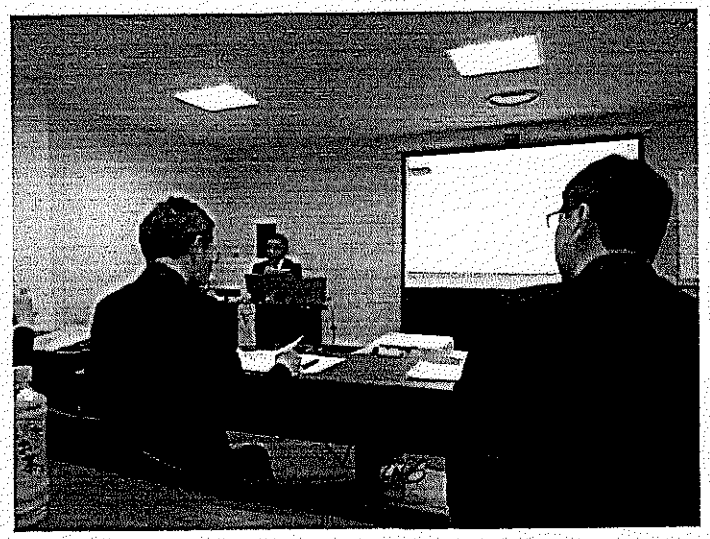
◇議員がめざすべき議会の姿
◇一般質問・質疑の本質とは











研修費旅費 整理番号　4

第３号様式（第６条、第８条関係）

令和６年６月１０日

会派名　自民クラブ
代表者名　立　花　敬　之　様

氏　名　岡　田　英

調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第６条第１項の規定により、次のとおり届出します。

１　旅行者　岡　田　英　議員

２　期　間　令和６年６月２６日（水）

３　場　所　岩手県盛岡市

４　目的及び内容　2024 東北地区セミナー
認定こども園・子ども子育て勉強会

５　支出可能額（上限額）　７，１２０円
【内訳は、旅費額計算書（第４号様式）に記載のとおり】

第４号様式（第６条、第８条関係）

旅費額計算書

旅行日程			旅費計算の基礎				
			区分	基数	単価	金額	備考
行き	6/26	八戸駅発 10:17	早見表				
	6/26	盛岡駅着 10:45					
帰り	6/26	盛岡駅発 17:37					
	6/26	八戸駅着 18:11					
経路・滞在地			鉄道運賃	2	1,690	3,380	八戸⇔盛岡 96.6k
別紙のとおり							
			急行料金 特	2	1,870	3,740	八戸⇔盛岡 96.6k
			急行料金 急				
			特別車両料金				
			宿泊料				
			小計			7,120	
			合計（小計×人数）			7,120	１名

自民クラブ　視察行程

・日　程：令和６年６月２６日（水）
・場　所：岩手県盛岡市
・出席者：岡田　英　議員

月 日	行 程
6月26日（水）	*10:17*発 八戸 → （はやぶさ16） → *10:45*着/*10:50*発 盛岡 → （移動） → *11:00*着/*17:15*発 いわて県民情報交流センター「アイーナ」 セミナー　11:30～17:00 → （移動） → *17:25*着/*17:37*発 盛岡 → （はやぶさ31） → *18:11*着 八戸

第５号様式（第６条、第８条関係）

令和６年６月２１日

会派名　　自民クラブ
代表者名　　立　花　敬　之　様

氏　　名　　岡　田　　英

調査視察等報告書

令和６年６月１０日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第６条第１項の規定により次のとおり報告します。

１　旅行者　　岡　田　　英　議員

２　期　間　　令和６年６月２６日（水）

３　場　所　　岩手県盛岡市

４　行　程　　八戸～JR～盛岡～JR～八戸

５　支出額　　７，１２０円（上限額）

６　概　要　　別紙のとおり

第１号様式（第５条、第８条関係）　　No

領収書等貼付用紙

項目	研修費	費目	旅費	整理番号	4-1
領収書等貼付欄					

2024年06月21日

領収書

一連No000035
領収No008588

岡田英　様

¥7,780−

（但し JR代金　として
正に領収致しました）

税抜金額
¥7,073−
消費税等
¥707−

収入印紙

北日本トラベル株式会社

青森県八戸市二十三日町4-1
電話:0178-22-5151
FAX :0178-45-5154
印刷面を内側に折って保管願います

登録番号 T1420001005756

指定席料金除く

旅費の上限額超えたため、
上限額7,120円を計上

※　領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

研修報告書

研修日	令和6年6月26日（水）　午前11時30分～午後5時
研修地	岩手県　盛岡市　アイーナ
研修テーマ	2024　東北地区セミナー　認定こども園・子ども子育て勉強会
出席者	岡田英

1、目的

このセミナーに参加することにより、少子化対策の国の動向を知り、また認定こども園を経営する方々の生の声をお聞きすることにより今抱えている課題を把握し、その解決に向け何ができるのか探り八戸市でも抱えている課題解決に向けての一助とするものである。

2、研修

① 講演「異次元の少子化対策」とは

元少子化担当大臣　衆議院議員　小倉將信氏

・認定こども園は地域の子育て拠点でなくてはならない。
・認定こども園の果たすべき役割はますます大きくなってきている。
・地域区分の見直しが議論になっている。全体を底上げして格差を解消していかねばならない。
・子ども家庭庁は縦割りを打破するためにできた。財源をどう確保していくかがカギとなる。
・少子化対策については目標を定め具体的な数字を出すべきところだがそれはそぐわない。人の価値観に基づいて改善をしていくべきである。
・少子化は危機的状況であると言い過ぎれば若い人たちに重圧がかかってしまう。みんなのために少子化対策をするという発信の仕方が大切である。
・スピード感と予算規模を今までにない形で実行していく。
・若い人の所得を増やす政策、経済社会政策を打っていく。
・男女が育児をしながらキャリアを得られる環境が必要。共働き、共育ての実現。
・若者は子育てに対し日本を冷たい国と思っている。対称として北欧の国は逆である。
・子育てが楽しいと思える環境をつくることが必要。社会の意識を変えていかねばならない。
・あらゆる子育てのステージでの不安を解消していくため今まで以上に支援をしていく。
・男性の育児参加という表現はふさわしくない。当たり前のように男性が育児に関わる事が大切であり、育休の男性の取得率を上げなくてはならない。
・育休を取得しても所得の手取りが落ちない制度が必要。休んだ職場の職員に手当が出る制度なども必要。
・こども誰でも通園制度は集団の中で育てられた方がいいというメリットがあり、子どもの育ちそのものを保障する。
・量から質の保育へ。サービスを受けていなかった子どもたちにもサービスをしていく。インクルーシブ教育の実現、障害児へのバックアップが必要。
・給食費、医療費の無料化は国がやるべき。
・きめ細かいところは地域が担当し国に支援を求めるべき。何でも国が無償化をするとなると限界がある。

② ランチミーティング

弁当を食べながら、自由に意見交換がなされた。

③ 話題提供

(1) 認定こども園　風の遊育舎　園長　澤口勇人氏（秋田県）

・秋田市も人口が30万人を切っている。子どもが減っているが、待機児童を抱えている。
・小学生になる前に意欲を育む方針のもと運営している。
・なかよしランチ実施➜アレルギー対策として一切卵や小麦を使用していない。

・子どもハローワーク実施➜学童に来る子どもが幼児の面倒をみている。
・屋上の園庭に特長がある。広くて遊び場がたくさんある。
・コッコの会➜無料で園を開放し、助産師とも連携し妊産婦の相談に乗る。赤字となっているので、公的支援がほしい。
・学校に来ていない子どもでも学童には来る子もいる。多様化にどう対応していくかが課題となっている。

(2) 認定こども園　ほなみの杜こども園　園長　青沼克之氏（宮城県）
・仙台市に昼間人口が集中しベットタウン化。出生率が高い。
・大崎市私立保育園・こども園園長連絡協議会設立。➜現場の声を市政に届ける。市長、担当課や市議会議員などと意見交換、連携していく。大きな役割を果たす。

(3) 認定こども園　日高ななつ星　園長　千葉正睦氏（岩手県）
・子どもたちの未来に何を願い何を残すか。種をまかなくては花は育たない。
・子どもが減っていく中で将来経営できるのか？園児の取り合いになる。サービス重視になる。
・厳しい未来であるが生まれてきた喜びと生きていく幸せを感じられる地域と未来をつくっていきたい。そのために歩んでいく。
・お金にならないことばかりだが、積み重ねが大切である。
・ＩＣＴを活用し小さな改善を図っていく。小さな扉をひとつずつ開けていくこと。

④ 鼎談（ていだん）
・田頭会長より
認定こども園・子ども子育て政治連盟設立の経緯が話された。色々な物事は政治決着で動くことに気づきはじめに認定こども園政策研究会を立ち上げ、政治家たちと処遇改善、公定価格について議論した。それから政治家にカウンターパートナーになってもらい連盟を立ち上げ百名の議員に応援してもらっている。
・坂崎理事長より
保育３団体は昔は仲が悪く予算がうまくつかなかったが、ひとつの団体を作り上げみんなで少子化に向かって前に進み始めた。
・東口理事長
政治家を使ってどう役人を動かすかがカギとなる。保育、幼稚園、こども園をひとつの団体にしたい。
・子どもが熱を出したとき男性が迎えに普通に行ける社会にならなくてはならない。

3、所感

国は子ども家庭庁を立ち上げ１年余りが経過した。岸田首相は異次元の子ども政策をかかげ、予算規模も拡大しスピード感を持って対応するとしている。子育て支援の政策はもちろんのこと若者の給与の引き上げや雇用の安定、育休を思うように取得できるような職場の改善など多岐にわたっての改革もしていくとしている。また、小倉衆議院議員がお話しされた通り、子育てが楽しいと思える環境をつくり社会の意識を変えていかなくてはならない。田頭氏は連盟の会長であり日本各地の国会議員とともに現場の声を国に届けようと精力的に活動をしている。私も微力ながら応援していきたい。何より現場で頑張っておられる先生方のための職場環境の改善、また子どもを安心して預けられる施設環境をつくるために現場の声を国へ届けていかねばならない。八戸市においても、待機児童はいないが国が求める新配

置基準も思うようには進んではいない状況である。当然予算の面も出てくるが量よりも質の時代へと移っているため、より環境のよい場所で子どもたちも保育、教育されるべきである。そのためにも粘り強く現場の声を上げていくべきであり、その実現に努力していかねばならない。

研修費旅費 整理番号　5

第３号様式（第６条、第８条関係）

令和６年６月１４日

会派名　自民クラブ
代表者名　立　花　敬　之　様

氏　名　立　花　敬　之
坂　本　美　洋
藤　川　優　里
岡　田　　英

調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第６条第１項の規定により、次のとおり届出します。

１　旅行者　立　花　敬　之　議員、坂　本　美　洋　議員、藤　川　優　里　議員、岡　田　　英　議員

２　期　間　令和６年７月３日（水）～ 令和６年７月４日（木）

３　場　所　東京都千代田区

４　目的及び内容　我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟　研修会
「ＳＴＥＡＭ教育について」
「今年度のＪＡＭＳＴＥＣの取組について」

５　支出可能額（上限額）　２１９，４４０円
【内訳は、旅費額計算書（第４号様式）に記載のとおり】

第４号様式（第６条、第８条関係）

旅　費　額　計　算　書

旅行日程			旅費計算の基礎				
			区分	基数	単価	金額	備考
行き	7/3	八戸駅発　11:07					
	7/3	新橋駅着　14:57	早見表				
帰り	7/4	新橋駅発　11:24					
	7/4	八戸駅着　15:04					
経路・滞在地			鉄道運賃	633.8k	9,790	17,620	八戸⇔新橋（往復割引）
別紙のとおり							
			急行料金 特	2	6,270	12,540	八戸⇔東京　631.9k
				2	△200	△400	閑散期割引(7/3, 7/4)
			急行料金 急				
			特別車両料金	2	5,600	11,200	八戸⇔東京　631.9k
			航空運賃				
			バス運賃				
			宿泊料	1	13,900	13,900	東京都内泊（7/3）
			小計			54,860	
			合計（小計×人数）			219,440	４名

「我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟」研修会等　行程

・日　程：令和６年７月３日（水）～４日（木）
・場　所：東京都千代田区

月 日	行　　程	宿泊地
7月3日 （水）	*11:07*発 八戸 → （はやぶさ18号） → *14:04*着/*14:53*発 東京 → （JR山手線） → *14:57*着/*15:00*発 新橋 → （移動） → *15:10*着/*16:50*発 JAMSTEC東京事務所 → （移動） → *17:00*着 文部科学省 （*15:30*～*16:40* 役員会・研修会） （*17:00*～*17:15* 表敬訪問） ・JAMSTEC東京事務所 15:30～16:40 役員会・研修会「STEAM教育について」 ・文部科学省 17:00～17:15 表敬訪問（研究開発局長 他）	東京都内
7月4日 （木）	*11:10*発 JAMSTEC東京事務所 → （移動） → *11:20*着/*11:24*発 新橋 → （JR山手線） → *11:29*着/*12:20*発 東京 → （はやぶさ23号） → *15:04*着 八戸 （*10:00*～*11:00* 研修会） ・JAMSTEC東京事務所 10:00～11:00 研修会「今年度のJAMSTECの取組について」	

第５号様式（第６条、第８条関係）

令和６年７月２６日

会派名　　自民クラブ
代表者名　　立　花　敬　之　様

氏　　名　　立　花　敬　之
坂　本　美　洋
藤　川　優　里
岡　田　　英

調査視察等報告書

令和６年６月１４日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第６条第１項の規定により次のとおり報告します。

１　旅行者　　立　花　敬　之　議員、坂　本　美　洋　議員、
藤　川　優　里　議員、岡　田　　英　議員

２　期　間　　令和６年７月３日(水) ～ 令和６年７月４日（木）

３　場　所　　東京都千代田区

４　行　程　　７月３日　八戸～JR～東京～JR～新橋

７月４日　新橋～JR～東京～JR～八戸

５　支出額　　１９２，２７０円

６　概　要　　別紙のとおり

第１号様式（第５条、第８条関係）　　No

領収書等貼付用紙

項目	研修費	費目	旅費	整理番号	5-1, 5-2
領収書等貼付欄					

領収証

No. 123152

2024年 7 月 26 日

岡田 英 様

金額			¥54310

但し JR 宿泊代として（7/3～4 東京）

10%対象(税込) 54310　0%対象

内 消費税 4937 円 上記の金額正に領収致しました。

貼用 収入印紙

現金	✓
小切手	
振込	
クレジット	

北日本トラベル 株式会社

登録番号 T1420001005756

〒031-0041 青森県八戸市二十三日町4-1 NDビル1F

TEL (0178) 22－5151(代)

扱者印

領収証

2024年 7月 3日

藤川 優里 様

金40，960円

ただし、乗車券類（6月27日八戸VF01発行分）代
（クレジットカードによるご利用分）として、上記金額を受領しました。

印紙税申告納付につき渋谷税務署承認済

適用税率 10%

東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 T9011001029597

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

八戸801 No.000010

※　領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

研修費旅費 整理番号　5-1

ご旅行代金明細書

岡田 英　様

令和6年[illegible]月[illegible]日

北日本トラベル株式会社
店長 大[illegible]
青森県八戸市廿[illegible]
電話 0178-22-5151
担当 [redacted]
登録番号 T1420001005756

ご依頼賜りました件につきまして、下記の通り請求させていただきます。
ご不明な点がございましたら担当者までお問い合わせ頂きます様お願い申し上げます。

参加人員	大人　1名	計　1名
ご旅行期間	令和6年7月3日～7月4日	
ご旅行方面	東京都 新橋	
行程	ご依頼を頂いた別紙の通りとなります。	

総旅行代金 54,310円

明細内訳

項目	人員		台数 人数	ご利用 運賃・料金	小計	区間・備考
JR代	1	40,960			40,960	7/3 八戸～東京(往復)
宿泊代	1	13,350			13,350	7/3 the b 新橋 朝なし
明細金額小計	1				54,310	
取消料						
現地支払代金				△		
明細金額合計	1				54,310	消費税10% 4,937円

ご請求特記事項　東京都宿泊税100円現払い

第１号様式（第５条、第８条関係）

No

領収書等貼付用紙

項目	研修費	費目	旅費	整理番号	5-3
領収書等貼付欄					

領収証

No. 123142

2024年 7月17日

立花敬之 様

金額			¥54660

但し JR.宿泊代として（7/3～4分）

10%対象(税込) 54660 0%対象

内 消費税 4969 円 上記の金額正に領収致しました。

貼用 収入印紙

現金	✓
小切手	
振込	
クレジット	

北日本トラベル 株式会社

登録番号 T1420001005756

〒031-0041 青森県八戸市二十三日町4-1 NDビル1F

TEL (0178) 22－5151(代)

扱者印

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

研修費旅費 整理番号 5-3

ご旅行代金明細書

立花 敬之 様

令和6年6月28日

北日本トラベル株式会社
店長 大[redacted]
青森県八戸市廿三日町4-1
電話 0178-22-5151
担当 [redacted]
登録番号 T1420001005756

ご依頼賜りました件につきまして、下記の通り請求させていただきます。
ご不明な点がございましたら担当者までお問い合わせ頂きます様お願い申し上げます。

参加人員　大人　1名　　計　1名
ご旅行期間　令和6年7月3日～7月4日
ご旅行方面　東京都 新橋
行程　ご依頼を頂いた別紙の通りとなります。

総旅行代金 54,660円

明細内訳

項目	人員		台数 人数	ご利用 運賃・料金	小計	区間・備考
JR代	1	40,960			40,960	7/3 本八戸～東京(往復)
宿泊代	1	13,700			13,700	7/3 the b 新橋 朝食付
明細金額小計	1				54,660	
取消料						
現地支払代金				△		
明細金額合計	1				54,660	消費税10% 4,969円

ご請求特記事項　東京都宿泊税100円現払い

第１号様式（第５条、第８条関係）　No

領　収　書　等　貼　付　用　紙

項目	研修費	費目	旅費	整理番号	ち-4
領収書等貼付欄					

領　収　証

2024年 6月22日

坂本 美洋 様

金28，640円

ただし、乗車券類代
（クレジットカードによるご利用分）として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

印紙税申告納付につき渋谷税務署承認済

東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 T9011001029597

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

八戸802 No.000025

領　収　証

No.123143

2024年7月17日

坂本美洋 様

金額			¥	1	3	7	0	0

但し 宿泊代として（7/3分）

10%対象(税込) 13700　0%対象

内 消費税 1245 円 上記の金額正に領収致しました。

貼収入印紙用

現金	✓
小切手	
振込	
クレジット	

北日本トラベル株式会社

登録番号 T1420001005756

〒031-0041 青森県八戸市二十三日町4-1 NDビル1F

TEL (0178) 22－5151(代)

扱者印

※　領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

研修費旅費 整理番号 54

ご旅行代金明細書

坂本 美洋 様

令和6年6月25日

北日本トラベル株式会社
店長 大[redacted]
青森県八戸市廿三日町4-1
電話 0178-22-5151
担当 [redacted]
登録番号 T1420001005756

ご依頼賜りました件につきまして、下記の通り請求させていただきます。
ご不明な点がございましたら担当者までお問い合わせ頂きます様お願い申し上げます。

参加人員　大人　1名　　計　1名
ご旅行期間　令和6年7月3日～7月4日
ご旅行方面　東京都 新橋
行程　ご依頼を頂いた別紙の通りとなります。

総旅行代金 13,700円

明細内訳

項目	人員		台数 人数	ご利用 運賃・料金	小計	区間・備考
宿泊代	1	13,700			13,700	7/3 the b 新橋 朝食付
明細金額小計	1				13,700	
取消料						
現地支払代金				△		
明細金額合計	1				13,700	消費税10% 1,245円

ご請求特記事項　東京都宿泊税100円現払い

「我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟」研修会　報告書

日時　令和６年７月３日（水）～４日（木）

場所　国立研究開発法人　海洋研究機構　東京事務所

出席者　坂本美洋　立花敬之　藤川優里　岡田英

【概要】

1　海洋 STEAM プロジェクトの取組状況報告

○日　時：令和６年７月３日（水）午後４時～５時

○説明者：国立研究開発法人海洋研究開発機構

海洋 STEAM 推進課　課長　市原盛雄氏

○説明概要

(1) 振り返り

・ＳＴＥＡＭ教育とは、教科等横断的な学習を通して実社会での問題発見・解決に生かしていく教育。

・「海」はＳＴＥＡＭ教育という教科横断的な学びに適したフィールドである。

・令和５年３月に八戸市長を表敬訪問し海洋ＳＴＥＡＭ教育プロジェクトを打診。全面的な協力の回答をいただいた。八戸市立吹上小学校が研究協力校に指定された。

(2) ＪＡＭＳＴＥＣにおける海洋ＳＴＥＡＭプロジェクト

・昨年より本格始動。学習指導要領に沿って学齢にマッチした教材を製作する。

・ダウンロードできるライブラリーをブランディングメッセージとともに公開した

(3) 海洋ＳＴＥＡＭ教材の製作

・生徒用➜新たな視点での発送を促す教材。テキスト、ワークシート等を制作する。

・先生用➜海に精通していない先生でも授業が進行可能となっている。指導書案、朱書等を制作する。

(4) 八戸市でのモデル事業

・八戸市立吹上小学校での実践。アンケートの結果から、授業の事前事後とでは海にとても興味がある生徒が倍増した。

・成果➜海への関心が深まった。自分事として捉えるようになった。問題解決のために学ぼうとする意欲につながった。

・初等教育機関への実装や地方自治体との連携が行われている。海洋 STEAM 教材開発への協力と実証授業が評価され、八戸市立吹上小学校の横内裕史教諭が「令和５年度文部科学大臣優秀教職員表彰」を受賞した。

(5) 今後の予定　（各自治体の予定）

・函館市➜市内の中学校（５校程度）において海洋 STEAM 教材を活用した海洋学習を予定している。小学校は函館市立旭小学校の６年生を対象に授業をし、同校で「北海道小学校理科教育研究大会」を同日開催し海洋学習の授業を公開予定としている。

・むつ市➜今年度６月にむつ市立関根小学校で実施した。総合的な学習の時間を使って海洋マイクロプラスチックが関根浜の砂浜と鎌倉の砂浜とではどちらが多いのか比較、研究した。

・八戸市➜今年度５月に５、６年対象に実施した。

・横浜市➜よこはまこどもマリンスクールにて今年の 10 月に小学 4～6 年生に紹介する予定。

・横須賀市➜制作した海洋副教材を海洋 STEAM 教材と複合的に活用するためのセミナーとワークショップを実施する予定。

・静岡市➜静岡市の副読本「しずおか学」を併用した授業実施を検討している。

・神戸市➜今年９月に神戸市立浜山小学校で実施予定。近隣の漁協訪問を通じて、リアルな体験とも絡めていく。

・名護市➜小学校で実施予定。むつ市、横須賀市とも交流する予定。

(6) まとめ（プロジェクトの目指す姿）

・海洋ＳＴＥＡＭ教材を通じて「正解のない問い」へ果敢にチャレンジする。

・地域ならではの海洋ＳＴＥＡＭ教育を展開していく、先生や子どもたちの海洋リテラシーが向上すること。

・海の学びを通じて、生きる力を身につける。

○写真

▲あいさつする大和理事長

▲あいさつする坂本会長

▲STEAM 教育について説明する市原課長

○　所感

このＳＴＥＡＭ教育を通じて、ＪＡＭＳＴＥＣ、そして市議会議員連盟との結びつきがますます強まったのではないかと感じた。八戸市立吹上小学校を皮切りに他の７市の小中学校でも授業としての取り組みが始まっている。そこからまた地域へと広まる出発点となり、多くの学校が実践し海洋 STEAM 教材が広がっていくことを期待したい。そしてそのことにより小中学校の子どもたちが海洋 STEAM プロジェクトの目指す姿に近づくことをさらに期待するものである。「正解のない問い」へ果敢にチャレンジすること、考え抜いて自分自身の考えを表現すること、このことについては、この現代社会を生きていく上でまさに今求められている能力ではないかと思う。子どもたちが力強く前を向いて未来を切り開いていけるよう、この海洋 STEAM 教育の役割は非常に大きなものと考える。これからの展開に期待をし、市議会議員連盟としても行政に働きかける大きな存在として JAMSTEC と連携をとりながら、大いに活動を進めていかねばならない。

2　今年度のJAMSTECの取組について

○日　時：令和６年７月４日（木）午前10時～11時

○説明者：国立研究開発法人海洋研究開発機構

理事　小平秀一氏

○概　要

(1)　目的

JAMSTECは海洋の総合的な研究開発機関として、新たな科学技術で海洋立国日本の実現を支え、国民、社会そして地球の持続的発展、維持に貢献することを目指している。これまで、様々な部門での調査研究を行い海洋、地球、生命、人類の統合的理解の推進に努めてきた。今回は、理事の小平氏から、能登地震への対応、「ちきゅう」による東北沖地震震源断層掘削計画、南海トラフ地震に備えた取組をお聞きし、JAMSTECが具体的にどのような活動をし、どのようにその成果が活かされているのか理解を深めるものである。

(2)　説明概要

①能登地震への対応

・2024年１月１日発生　M7.6　最大震度７

・震源は珠洲市付近　深さ約15㎞　主として南東傾斜の逆断層

・余震域は震源から北東、南西にそれぞれ70～80㎞に広がる。

・さらに北東の佐渡島西方沖の余震の明瞭な配列は確認できない。海域の観測点がないため、精度の良い震源が求められない。

・本震の震源断層が決められないため、地震時の主要な滑り分布が評価できない。

・佐渡島西方での調査研究が必要である。➜調査のため緊急航海を実施する。

・白鳳丸による海域緊急観測を行った。➜ＯＢＳの設置、回収、海底地形調査等

・本震で大きく動いていない海域で活発な地震活動があった。➜１次、２次航海による結果から

・水中ドローンによる海底断層の撮影や浅層構造調査を行った。➜３次航海にて

・今後は余震活動の推移を調べ、海域の震源断層を捉える。

②ＪＴＲＡＣＫ：「ちきゅう」による東北地震震源断層掘削計画

・２０２４年９月「ちきゅう」は再び日本海溝へ向かう。➜1000年に一度しか挑めない挑戦

・なぜ海溝付近で大規模なすべりが起こったのかを理解する。

・ＪＦＡＳＴの４つのチャレンジ①断層を探し当てる　②断層サンプルを回収する　③断層に温度計を

設置する　④その温度計をＲＯＶで回収する

・断層を探し当てる➜ドリルの上に発電機と各種センサーを装備し、掘りながら孔壁を計測する。

・断層サンプルを回収する➜断層帯の厚さは約4mであり、断層運動によっては著しく変化したもろい岩石である。

・東北沖地震の巨大な断層滑りの原因は？➜プレート境界断層での温度計測に成功した。断層部分だけが温かい温度となっている。

・2024年９月～12月に再び震源断層に挑み、プレート境界断層浅部とその周辺を構成する岩石の物理的・科学的特性とその時空間変化を理解する。

・ＪＴＲＡＣＫのミッション➜検層データを得る。コア資料を採取する。掘削孔内に装置を設置す

る。

・コア分析、検層、長期孔内観測データ、広域観測データを総動員して検証をしていく。

③南海トラフ地震に備えた取組

・多様性と予測の不確実性を持つ。➜地震発生間隔は 90 年から 240 年とばらついている。また、1 つの地震サイクルの中で東西に分かれて地震が起きたり、全体で起きたりしている。このばらつきにより、地震履歴情報だけでは次の地震がいつ起きるかの評価は困難である。津波観測監視システムやスロースリップ断層観測システムを使った発生後の早期検知・警報、発生前の現状把握が必要となる。

・即時津波予測システムの社会実装➜和歌山県・三重県と連携した広域展開

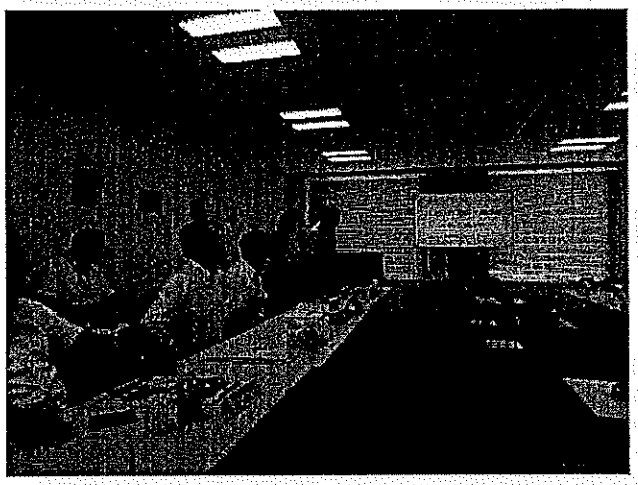
・南海トラフ地震臨時情報➜南海トラフ沿いで異常な現象を観測した場合や地震発生の可能性が相対的に高まっていると評価された場合などに、気象庁から発表される情報

・南海すべりゆっくり滑り観測監視計画➜超高度な地震センサーを「ちきゅう」により海底下深くに設置し、南海トラフ地震発生帯におけるゆっくり滑りの常時リアルタイム観測を目指す。

・南海トラフの 3 次元地下構造➜過去 20 年間の地下構造調査ビックデータを全て活用する。

・10 年後のイメージ➜即時に情報発信、リアルタイムモニタリング・情報発信が可能となる。

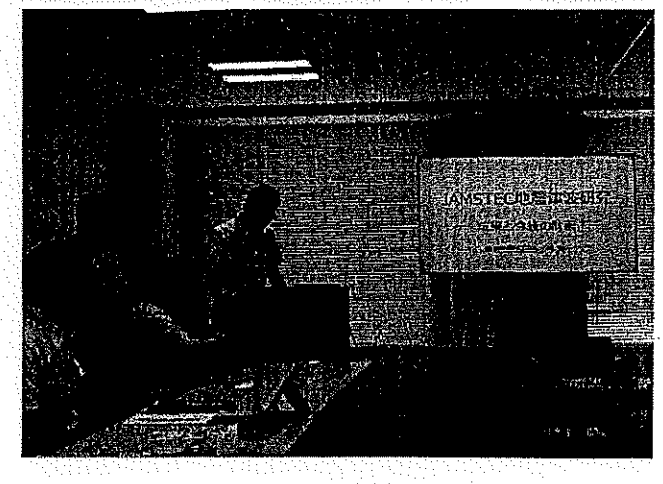
○写真



▲あいさつする坂本会長

▲研修に臨む八戸市議団

▲研修に臨む八戸市議団



▲説明する小平理事

○　所感

今回の研修を通し、よりJAMSTECの活動が理解でき有意義なものとなった。能登半島地震の解明のためOBSの設置、回収、海底地形調査など積極的に行っている。今後も余震活動の推移、海域の震源断層を捉え、得られたデータや知見は地震調査委員会や地元自治体へ報告するということである。今後のJAMSTECの取組に期待するところである。また、東日本大震災から13年余り経過した今、再び断層からサンプルリターンをするということである。是非とも巨大地震を起こしたメカニズムを解明していただきたいところである。この1000年に一度しか挑めない挑戦に期待したい。南海トラフ地震については、過去による地震発生のデータからでは、ばらつきがあるため予測が不能ということであった。発生後の早期検知・警報、発生前の現状把握が必要であるとしているがこのシステムの精度を上げ、事前に、また起きてからも住民に対し情報を正確に発信できるようにご努力いただきたい。今般はいつどこで地震が発生するか予測不能な時代となっている。少しでも住民の不安が解消されるよう、科学的な見地に立って地震のメカニズムを解明いただきJAMSTECのますますのこれからの飛躍を期待したい。

研修費旅費 整理番号　6

第３号様式（第６条、第８条関係）

令和６年１０月７日

会派名　　自民クラブ
代表者名　　立　花　敬　之　様

氏　　名　　日　當　正　男

調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第６条第１項の規定により、次のとおり届出します。

１　旅行者　　日　當　正　男　議員

２　期　間　　令和６年１０月２９日(火)

３　場　所　　秋田県秋田市

４　目的及び内容　2040未来ビジョン出前セミナーin秋田

５　支出可能額（上限額）　２０，６４０円
【内訳は、旅費額計算書（第４号様式）に記載のとおり】

第４号様式（第６条、第８条関係）

旅　費　額　計　算　書

旅行日程			旅費計算の基礎				
行き	10/29	本八戸駅発　9:50	区　分	基　数	単　価	金　額	備　考
	10/29	秋田駅着　12:30	早見表				
帰り	10/29	秋田駅発　16:34					
	10/29	本八戸駅着　19:34					
経路・滞在地			鉄道運賃	2	4,070	8,140	本八戸⇔秋田　237.6ｋ
別紙のとおり							
			急行料金　特	2	1,870	3,740	八戸⇔盛岡　96.6k
				2	1,580	3,160	盛岡⇔秋田　134.9k
			急行料金　急				
			特別車両料金	2	2,800	5,600	盛岡⇔秋田　134.9k
			航空運賃				
			バス運賃				
			宿泊料				
			小　計			20,640	
			合　計（小計×人数）			20,640	１名

2040 未来ビジョン出前セミナー in 秋田 行程表

日程：令和６年１０月２９日（火）
行先：秋田県秋田市

【日當　正男 議員】

月 日	行　　程
10月29日 （火）	9:50発 本八戸 → （JR八戸線） → 9:59着/10:17発 八戸 → （はやぶさ16号） → 10:45着/10:57発 盛岡 → （こまち9号） → 12:30着 秋田 → （移動） → 12:40着/13:00～開場・受付 秋田キャッスルホテル 13:30～15:30講演会 → （移動） → 15:40着/16:34発 秋田 → （こまち40号） → 18:14着/18:37発 盛岡 → （はやぶさ35号） → 19:08着/19:26発 八戸 → （JR八戸線） → 19:34着 本八戸

第５号様式（第６条、第８条関係）

令和６年１１月２１日

会派名　　自民クラブ
代表者名　　立　花　敬　之　様

氏　　名　　日　當　正　男　㊞

調査視察等報告書

令和６年１０月７日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第６条第１項の規定により次のとおり報告します。

１　旅行者　　日　當　正　男　議員

２　期　間　　令和６年１０月２９日(火)

３　場　所　　秋田県秋田市

４　行　程　　別紙のとおり

５　支出額　　８，８６０円

６　概　要　　別紙のとおり

2040 未来ビジョン出前セミナー in 秋田 行程表

日程：令和６年１０月２９日（火）
行先：秋田県秋田市

【日當　正男 議員】

月 日	行　　程
10月29日 （火）	9:50発 本八戸 → （JR八戸線） → 9:59着/10:17発 八戸 → （はやぶさ16号） → 10:45着/10:57発 盛岡 → （こまち9号） → 12:30着 秋田 → （移動） → 12:40着/13:00～開場・受付 秋田キャッスルホテル 13:30～15:30講演会 → （移動） → 15:40着/16:34発 秋田 → （こまち40号） → 18:14着/18:37発 盛岡 → （はやぶさ35号） → 19:08着/19:26発 八戸 → （JR八戸線） → 19:34着 本八戸

第６号様式（第７条、第８条関係）

活　動　記　録　簿

会派・議員名　　自民クラブ　　日當　正男

項　　目	研修費			
年　月　日	令和６年10月29日（火）			
場　　所	秋田キャッスルホテル　４階「放光の間」 （秋田県秋田市中通1-3-5）			
相　手　方	主催：全国市議会議長会			
参加者氏名	日當　正男			
目的・内容・結果等	講師：饗庭　伸 （東京都立大学都市環境学部教授） 内容：「空き家の増大と住宅政策」			
経　　費	費　目	内　　容	金　額	備　考
	参加費			
	交通費		8,860円	
	宿泊費			
	合　計		8,860円	
備　　考				

第１号様式（第５条、第８条関係）　　No

領収書等貼付用紙

項目	研修費	費目	旅費	整理番号	6-1
領収書等貼付欄					

領　収　証

2024年10月11日

日當 正男 様

金8，860円

ただし、乗車券類（10月29日　八戸～秋田　往復分）代
（クレジットカードによるご利用分）として、上記金額を受領しました。

印紙税申告納付につき渋谷税務署承認済

適用税率 10%

東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 T9011001029597

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

鮫４０１ No.000002

※　領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

2040未来ビジョン出前セミナーｉｎ秋田

・日時　令和6年10月29日（火）　13：30～15：30

・場所　秋田キャッスルホテル　4階「放光の間」　（秋田県秋田市中通1-3-5）

・主催　　全国市議会議長会

・参加者　　日當　正男　（自民クラブ）

・研修概要

講　師　　饗庭　伸　（東京都立大学都市環境学部教授）

内　容

13時開場・受付、その後13時20分より議員向け団体保険のご案内動画を放映した。
13時30分より開会。まず初めに開催市議長あいさつとして秋田市議会議長の菅原琢哉氏より挨拶があった。
そして13時40分より饗庭伸東京都立大学都市環境学部教授より「空き家の増大と住宅政策」と題して次のような内容で講演があった。
「空き家の増大と住宅政策」
1　平成期の住宅政策
・平成期の住宅政策
・住宅政策の課題
2　人口減少時代の都市問題
・日本の人口減少
・人口と都市のバランス
・人口減少は都市空間どう現れるか
・秋田の人口減少
3　秋田の住宅
・秋田の住宅の概況

・住宅の古さは？
・空き家の状況
・住宅を分析するポイント
4　これからの住宅政策
・これからの住宅政策
・空き地の政策
・空き家、空き地を使った住環境の改善
その後15時10分より質疑応答・意見交換があり15時30分に閉会した。

所　見

今回のセミナーは、空き家及び住宅政策に関心があり、専門家（都市計画・まちづくり）の大学の教授でもあり、一級建築士事務所も運営している講師のお話しが伺えるということで、議員活動に活かせればとの思いで受講した。
セミナーの講師は東京都立大学都市環境学部都市政策科学教授（工学博士）であり、合同会社あたらしいまち一級建築士事務所も運営している饗庭伸氏である。
東北では山形県鶴岡市や岩手県大船渡市の現場に携わったことがあるとのこと。
セミナーはパワーポイントを使用し、レジメに則り自身の経験を交えて講義された。
特に印象に残ったことを列記すると
・1955年の「住宅政策の三本柱」から2006年の「市場とセーフティネット」へ変化。
・セーフティネットを公営住宅等を中心にして運営することは「住生活基本計画」で検討する。
・住宅だけでなく、その周辺にある「住環境」もあわせて考えることが必要
・都市は外側から内側に向けて縮小するのではなく、内側に小さな穴が開くように縮小する。
・日本は土地が私有化されているのでこの現象（スポンジ化）から逃れられない。
・この空間（スポンジ化した土地）を使って、課題をどう解決するかが重要。
・住宅・土地統計調査の数字を検討してみることが大事。
・様々な年代に建てられた住宅の構成を検討してみることが大事。
・統計を見て、住宅数、世帯数、人口数、空き家数、住宅増分数、住宅着工数、住宅滅失数を検討することが大事である。そこから見えてくるものがある。
・人口が減ると徐々に世帯数が減り徐々に空き家が多くなる可能性がある。し

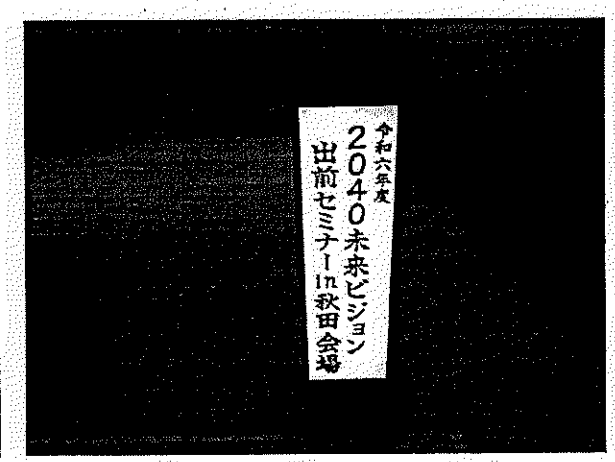
かしそこにはタイムラグがあり、人口が減っても住宅の数がすぐに減るわけでなく、人口減少だから即空き家の増大ではない。
・世帯の減少にあわせて住宅が無くなっていけば、空き家の問題は無い。
・空き家数は住宅数と世帯数の差であり、住宅より急激に世帯が減った時に増えるが、住宅が取り壊されたら減るので、人口が減り続ける＝空き家が増え続けるわけではない。
・世帯数が減ると使われない住宅が増えていくが、空き家として存置されず壊されていく「代謝」が必要。
・代謝すなわち取り壊されると次に「空き地」が増えていく。
・空き家対策はどうしようもないものを壊す（特定空き家の解体代執行）。流通をよくする（意識啓発、空き家バンク）。勿体ないものを利活用（空き家活用）。空き家の実態調査。空き地の政策をつくる。空き家や空き地が出てくるので、それを使って住環境を改善する。
・これからの都市計画、住宅政策は一般的なコンパクトシティ化でなく、住環境を整えながらコンパクトシティ化が重要。

今回のセミナーは議員としての知識、見識、教養が深まり大変有意義なセミナーであった。このセミナー受講を活かし、八戸市における空き家、空き地、住宅政策問題に取り組み、八戸市の発展そして市民の福祉の増進の為、努めていきたい。

2024未来ビジョン出前セミナーin秋田

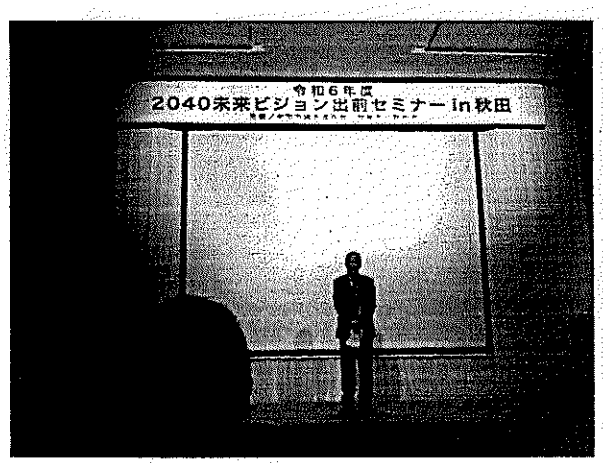
令和6年10月29日

会場ホテル

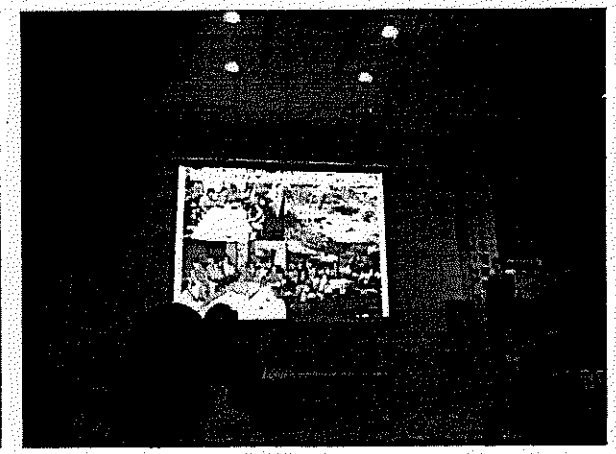


入口看板

会場内



秋田市議会議長　挨拶



セミナー風景

講師

研修費旅費 整理番号　9

第３号様式（第６条、第８条関係）

令和７年２月３日

会派名　　自民クラブ
代表者名　　立　花　敬　之　様

氏　　名　　坂　本　美　洋

調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第６条第１項の規定により、次のとおり届出します。

１　旅行者　　坂　本　美　洋　議員

２　期　間　　令和７年２月１１日(火) ～ 令和７年２月１３日(木)

３　場　所　　東京都千代田区

４　目的及び内容　・国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）における今後の取組について
・八戸ふるさと交流フォーラム

５　支出可能額（上限額）　６８，９６０円
【内訳は、旅費額計算書（第４号様式）に記載のとおり】

第４号様式（第６条、第８条関係）

旅費額計算書

旅行日程			旅費計算の基礎				
			区分	基数	単価	金額	備考
行き	2/11	本八戸駅発 12:46	早見表				
	2/11	東京駅着 16:14					
帰り	2/13	東京駅発 9:32					
	2/13	本八戸駅着 9:37					
経路・滞在地			鉄道運賃	638.0k	9,790	17,620	本八戸⇔東京（往復割引）
別紙のとおり							
			急行料金 特	2	6,270	12,540	八戸⇔東京 631.9k
				1	△200	△200	閑散期割引（2/13）
			急行料金 急				
			特別車両料金	2	5,600	11,200	八戸⇔東京 631.9k
			東京メトロ				
			宿泊料	2	13,900	27,800	東京都区内泊（2/11、2/12）
			小計			68,960	
			合計（小計×人数）			68,960	1名

令和７年2月11日～13日　東京都千代田区　視察日程

■日程　　令和７年２月１１日（火）～１３日（木）
■場所　　東京都千代田区（国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）東京事務所、ルポール麹町）
■参加者　　坂本 美洋　議員

月日	行程	宿泊先
2/11（火）	本八戸駅 12:46発 → JR八戸線 八戸行 (9分) 6.1km → 八戸駅 12:55着 13:07発 → JR新幹線はやぶさ 20号 東京行 (177分) 631.9km → 東京駅 16:04着 16:14発 → 移動 → 宿泊先	東京都内
2/12（水）	宿泊先 9:30発 → 移動 → JAMSTEC 東京事務所 9:45着 11:00発 → 移動 → ルポール麹町 17:30 20:30 → 移動 → 宿泊先 国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）における今後の取組について　八戸ふるさと交流フォーラム	東京都内
2/13（木）	宿泊先 5:50発 → 移動 → 東京駅 6:22着 6:32発 → JR新幹線はやぶさ 1号．新函館北斗行 (169分) 631.9km → 八戸駅 9:21着 9:29発 → JR八戸線 久慈行 (8分) 6.1km → 本八戸駅 9:37着	

第５号様式（第６条、第８条関係）

令和７年２月１７日

会派名　　自民クラブ
代表者名　　立　花　敬　之　様

氏　　名　　坂　本　美　洋

調査視察等報告書

令和７年２月３日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第６条第１項の規定により次のとおり報告します。

１　旅行者　　坂　本　美　洋　議員

２　期　間　　令和７年２月１１日(火) ～ 令和７年２月１３日(木)

３　場　所　　東京都千代田区

４　行　程　　別紙のとおり

５　支出額　　６１，９２０円

６　概　要　　別紙のとおり

令和７年2月11日～13日　東京都千代田区　視察日程

■日程　　令和７年２月１１日（火）～１３日（木）

■場所　　東京都千代田区（国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）東京事務所、ルポール麹町）

■参加者　　坂本 美洋　議員

月日	行　程	宿泊先
2/11 (火)	本八戸駅 12:46発 → JR八戸線 八戸行 (9分) 6.1km → 八戸駅 12:55着 13:07発 → JR新幹線はやぶさ 20号 東京行 (177分) 631.9km → 東京駅 16:04着 16:14発 → 移動 → 宿泊先	東京都内
2/12 (水)	宿泊先 9:30発 → 移動 → JAMSTEC 東京事務所 9:45着 11:00発 → 移動 → ルポール麹町 17:30 20:30 → 移動 → 宿泊先 国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）における今後の取組について　八戸ふるさと交流フォーラム	東京都内
2/13 (木)	宿泊先 5:50発 → 移動 → 東京駅 6:22着 6:32発 → JR新幹線はやぶさ 1号 新函館北斗行 (169分) 631.9km → 八戸駅 9:21着 9:29発 → JR八戸線 久慈行 (8分) 6.1km → 本八戸駅 9:37着	

第１号様式（第５条、第８条関係）　　No

領収書等貼付用紙

項目	研修費	費目	旅費	整理番号	9－1
領収書等貼付欄					

領　収　証

2025年 1月19日

坂本 美洋 様

金29，840円

ただし、乗車券類代
（クレジットカードによるご利用分）として、上記金額を受領しました。

印紙税申告納付につき渋谷税務署承認済

適用税率 10%

東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 T9011001029597

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

本八戸801 No.000012

※　領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

第１号様式（第５条、第８条関係）　No

領収書等貼付用紙

項目	研修費	費目	旅費	整理番号	9-1
領収書等貼付欄					

領収証

ホテル ルポール麹町
地方職員共済組合 麹町会館

東京都千代田区平河町2丁目4番3号
〒102-0093　TEL.03(3265)5361
登録番号　T2700150001147

お名前
GuestName サカモト　ヨシヒロ 様

お部屋番号 ROOM No.	ご人数 PERSON	泊数 NTS	到着日 ARRIVAL	出発日 DEPARTURE	発行日 ISSUED	No.
1003	1	2	2025/02/11	2025/02/13	2025/02/13 06:24	636809-0-0

日付 DATE	お部屋番号 ROOM No.	摘要 EXPLANATION	単価 PRICE	数量 Q'TY	料金 CHARGE	お支払 CREDIT
02/11	1003	大人朝食	1,440	1	1,440	
02/11	1003	室　料	13,900	1	13,900	
02/11	1003	宿泊税	100	1	100	
02/12	1003	大人朝食	1,440	1	1,440	
02/12	1003	室　料	15,100	1	15,100	
02/12	1003	宿泊税	100	1	100	
		(　10%合計　¥31,880　内消費税　¥2,898)				
					32,080	0

領収
7.2.13
ホテル
ルポール麹町

差引ご請求金額 BALANCE DUE　CR　32,080

調査視察等報告書

１　視察期間

令和７年２月１１日（火）～１３日（木）

２　視察場所

東京都千代田区

３　参加議員

自民クラブ　坂本美洋

４　調査視察等対応日時・項目等

⑴国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）における今後の取組について

○日時：令和７年２月１２日（水）１０：００～１１：３０

○場所：国立研究開発法人海洋研究開発機構　東京事務所

（東京都千代田区内幸町２丁目２番２号）

⑵令和６年度八戸ふるさと交流フォーラム

○日時：令和７年２月１２日（水）１７：３０～２０：３０

○場所：ホテルルポール麹町（東京都千代田区内幸町２丁目２番２号）

国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）視察

【視察項目】

◎国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）における今後の取組について

※当市議会議員連盟の活動や海洋 STEAM 教育に関する取組など、当市と深く関わりを持ちながら、海洋研究や新たな技術の創出に取り組んでいる国立研究開発法人海洋研究開発機構の今後の取組や方向性を学び、海から拓け海とともに発展してきた当市の重要な地域資源である海を活かした地域振興や人材育成に向けた更なる施策の検討・実施につなげるため、当該団体を視察するものである。

【開催日時等】

○日時：令和７年２月１２日（水）１０：００～１１：３０

○場所：国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）東京事務所

（東京都千代田区内幸町２丁目２番２号　富国生命ビル２３階）

【参加議員】

・坂本美洋

【対応者】

・国立研究開発法人海洋研究開発機構　監事　菊池　聰　様

【視察概要】

◎JAMSTEC 団体概要（使命・取組の方向性・組織規模・予算等）

・国立研究開発法人海洋研究開発機構法に基づく団体であり、海洋に関する基盤的研究開発や学術研究に関する協力等の業務を総合的に行うことで、海洋科学技術水準の向上と学術研究の発展を目的としている。

・「海洋・地球・生命・人類の統合的理解の促進と社会との協創による地域の未来の創造」を使命とし、その実現に向け、これまでの事務機能に加え、ICT の利用を促進しつつ、業務改革の視点を常に持ちながら、研究・技術開発等に取り組んでいる。

・ICT を活用し、当市と連携を図りながら進めている海洋 STEAM 事業の推進、知財の発信など、新規事業に取り組んでいる。

・研究成果や技術開発に取り組むことで国内の関連業界における知の財産が生まれ、それを積極的に国民に情報発信することで、団体の活動に関する国民の理解が深まり、その結果、人類の社会的課題の解決につながるというサイクルを目指している。

・国の政策を踏まえて取組を進めており、科学技術・イノベーション政策としては、「第６期科学技術・イノベーション基本計画」に基づく海洋、宇宙の適切な開発、利用等を支える科学技術の継続的な強化、海洋政策では第４期海洋基本計画に基づき持続可能な海洋の構築に向けた取組を進めている。

・JAMSTECでは、現在、第４期中期目標の実現に向けた取組を続けており、６年目を迎えている。
地球環境の状況把握と変動予測のための研究開発、海域で発生する地震及び火山活動に関する研究開発、挑戦的、独創的な研究開発と先端的基盤技術の開発などに取り組むこととしている。
・900人を超える職員で構成され、令和５年に世界トップレベル研究拠点プログラム採択を踏まえて東北大学と共同設置・運営をしている変動海洋エコシステム高等研究所、令和６年度に海洋STEAM事業の更なる推進を目的に海洋STEAM推進課を設置するなど、取組を進める施策に応じて、柔軟に組織改革を行いながら、事業を進めている。
・令和６年度の当初予算額は約３４１億円。令和元年以降は３２０億円～３４０億円程度で推移。
・横須賀市に本部を置き、むつ研究所や高知コア研究所をはじめ、全国に５カ所の研究所等を有する。

◎研究開発部門の概要
・地球環境部門では、短～長期的な海洋変動の将来予測等に取り組み、地球温暖化やプラスチック汚染等の地球規模の課題の解決などを通じて国内外の政策に貢献している。
・海洋機能利用部門では、深海・深海底などの環境から得た試料・データ・技術・科学的知見を関連産業に展開し、海洋産業促進に貢献している。
・海域地震火山部門では、南海トラフなど海域で発生する地震や火山活動の調査・観測を行い、活動の現状把握と実態解明に努め、得た成果を国などへ提供することで、防災・減災に貢献している。
・超先鋭研究開発部門は、海洋国家日本を支える知的基盤の構築の実現を目指し、生物の起源や未知の微生物の探索をはじめ、挑戦的・独創的な研究開発に取り組んでいる。
・研究プラットフォーム運用部門は、日本の海洋科学技術の水準向上など、JAMSTECの研究開発目標の達成に貢献するため、保有する有人潜水調査船や船舶、無人探査機当の安全・効率的な運用管理と機能向上を図っている。

◎保有船舶の概要
・中長期計画の達成に向けて、各種研究船や学術研究船等の効率的な運行・運用に取り組んでいる。
・主な船舶として、南海トラフ地震発生対等の掘削調査などを行う「地球深部探査船ちきゅう」やしんかい６５００の母船として海底地形調査や生態系調査を実施する「深海潜水調査船支援母船よこすか」などがある。
・令和７年３月に青森県むつ市を母港とする「みらいⅡ」が進水式を行った。
氷海域を含む様々な海域におけるオールラウンドな観測研究機能を備えており、令和８年１１月に竣工予定である。

◎無人探査船・潜水船の概要
・深海底の海洋環境の探査・調査のため、有人・無人探査機当の開発・運用に取り組んでいる
・主な調査船として、最大潜航深度6500mを誇る「有人潜水調査船しんかい6500」、6000mを最大曳航深度とする「深海曳航調査システム ディープ・トウ」などがある。

◎地震発生のメカニズムに関する事業展開

・東日本大震災の断層の掘削を行うとともに、長期孔内温度計測装置を設置。2012年に行った調査結果と比較し、どのように強度を回復し、次の地震の準備を始めるかを調査することで、類似の地質構造をもつ千島海溝から日本海溝にかけての領域での巨大地震発生長期評価の高度化のための新たなデータを取得し、今後の国及び地方自治体の防災計画の立案等に貢献するもの。

◎STEAM教育における役割

・国の第４期海洋基本計画において、着実に推進すべき主要施策として海洋人材の育成・確保が明記されたことを受け、国の総合的な海洋研究機関として、STEAM教育を通じて、社会課題解決型の次世代海洋人材育成を体系立て、海洋STEAM教材の作成、学びのイノベーションプラットフォームによるオンラインを活用した事業展開、当市議会が事務局を務める「我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟」加盟８自治体と連携した教育現場への実装に取り組んでいる。

・教育現場への実装に関しては、令和５年度、当市の吹上小学校を協力校として、教材開発、教材を総合的な学習の時間への活用を進めたところであり、吹上小学校の担当教諭が「令和５年度文部科学大臣優秀教職員表彰」を受賞するなど、評価を受けているところである。

【所感】

・JAMSTECでは、巨大地震における断層の強度回復などに関する調査研究を行っているとのことであったが、東日本大震災をはじめ、度々大きな震災に見舞われ、また、今後、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震への対策が求められる当市にとって、その調査研究の成果を十分に活用していくことは、今後の防災・減災対策に欠かせない重要な視点と感じたところである。加えて、この研究成果は、国や地方自治体と共有することで、南海トラフをはじめとする災害対策にも有効であると考えられ、国全体の防災・減災対策につながるものであり、今後の動向を注視していきたいと考えている。

・当市において事業が展開されている海洋STEAM教育については、今後、当市も加盟している「我が国の海洋研究を推進する議員連盟」加盟自治体とも連携がされていく予定とのことであり、多様な地域で事業が展開されていくことにより、事業内容のさらなる進化、充実が期待されるところであり、それらの状況も適切に把握しながら、当市の人材育成に向けた取組に活かしていきたいと考えている。

・今後は、JAMSTECの今後の事業展開の方向性や研究成果を活かしつつ、議員連盟の活動など継続し、当市との連携がさらに深まるよう努めながら、当地域の重要な地域資源である海を存分に活用し、地域の未来を担う人材の育成をはじめ、持続可能な地域づくりの実現に向けた取組の検討・実行に努めていきたい。

令和６年度八戸ふるさと交流フォーラム　研修報告書

【参加目的】

首都圏で活躍されている八戸特派大使や東京在住関係者との交流を通じて関係性の構築・深化を図るとともに、パネルディスカッション等を通じて、当市発展に向けた今後の施策検討につなげることを目的とする。

【開催日時等】

○日時：令和７年２月１２日（水）１７：３０～２０:３０

○場所：ホテルルポール麹町（東京都千代田区平河町２－４－３）

【参加議員】

・坂本美洋

【視察概要】

◎市政報告（八戸市長　熊谷雄一氏）

・市１０大ニュース、第７次八戸市総合計画の概要、未来共創推進戦略２０２４の重要課題、さらには、当市におけるポテンシャルと取組として、八戸市まちの魅力創生ネットワーク会議運営事業、モーダルコンビネーションの物流拠点や水素等導入推進ＰＴの設置、市長との公民館サロン開催事業などについて、概要説明がなされた。

◎パネルディスカッション「スポーツによる地域と経済の活性化」

パネリスト：伊調　馨　氏（女子レスリング選手/八戸市スポーツ大使）

鈴木　秀樹　氏（(株）鹿島アントラーズ・エフ・シー取締役副社長）

熊谷　雄一　氏（八戸市長）

・熊谷市長からは、スポーツによる八戸市のまちづくりに関する取組紹介がなされ、レスリングに関する内容や、サッカーをはじめとするプロスポーツチームに関する取組などの説明がなされた。

また、鈴木氏からは、鹿島アントラーズ社長が創設したまちづくり会社に関する活動紹介がなされるとともに、伊調氏からは、オリンピック４連覇を成し遂げた際のお話も交えながら、これまでのレスリング人生についてお話をいただいた。

【所感】

・パネルディスカッションにおいては、当市出身者から外部目線も踏まえた提案等を伺う機会となり、当市ならではの銭湯の文化の魅力発信に関するお話や、世界の選手が参加する合宿の開催などのお話は、当地域の活性化に向けて大変参考となる内容であり、とても参考となった。

・当地域に暮らす人にとって日常である文化やコンテンツが、外部の人にとってはかけがえのない魅力となる点を改めて認識することができたとともに、当地域のポテンシャルの高さを改めて理解したところであり、引き続き、外部目線を意識した当地域の魅力の掘り起しに努めていきたい。

・また、スポーツ合宿に関しても話題となったが、まちづくりにおけるスポーツが生み出す効果は大変大きなものであると再認識したところであり、ヴァンラーレ八戸をはじめとするプロスポーツ団体との連携強化、当地域の魅力である氷都八戸を活かした合宿や大規模大会の誘致などについて、引き続き努めていきたいと考えており、今回の研修で得た内容を、今後の議員活動に活かしていきたい。